









11月1週目

11月1日は死者の日であり、ポーランドの祝日であるため学校は休みになり、皆で墓地へ向かいました。日本とは違うヨーロッパ式の墓地で、とても興味深かったです。沢山の人が集まっており、皆この日を大切にしていることが伝わってきました。

また、今週は土曜から火曜の4日間、AFSの旅行があり、ルブリンという街に行きました。私たちは4日間それぞれの4日間だけの新しいホストファミリーとすごしました。私のホストファミリーはファザーとマザー、4人の子供たちがいました。子供たちはそれぞれ9、6、4、2歳と小さく、とても可愛かったです。1日目は夕方頃にルブリンに到着し、そのまま各家

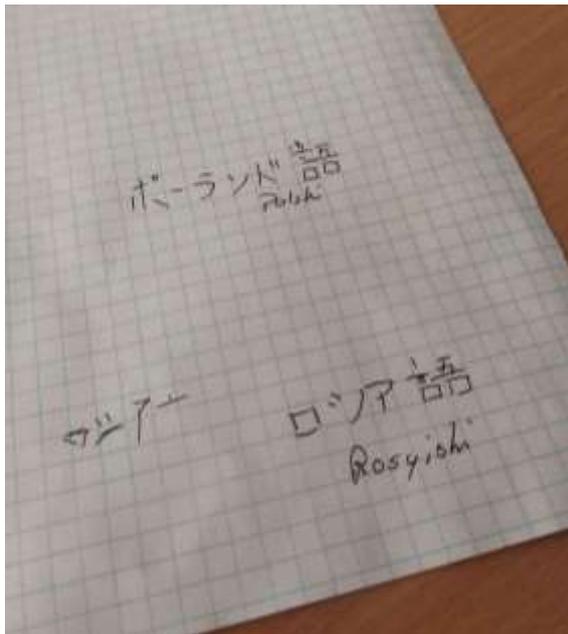
まで行きました。私のホストファミリーはルブリン中心部のアパートに住んでおり、ポーランドのアパート内部を見るのは初めてだったので新鮮でした。夜は家が近かった他の留学生と一緒にold townと呼ばれる昔ながらの街並みが残る場所へ訪れました。街並みを見たあとは先日始まったばかりのイルミネーションを見に行き、そこで偶然来ていた同じ日本人の子と出会いました。会えるのは次の日からだろうと思っていたのでとても驚きましたが、嬉しかったです。イルミネーションの途中、急に日本をモデルにしたようなゾーンがありとても驚きました。いくつか日本語も書いてあったので、どういう意味なの？と他の留学生の人に聞かれました。

日曜日の朝はとても大変でした。前日の夜は子供たちは誕生日パーティに行っており会うのは朝が初めてだったのですが、突進して抱きついてきたり、隠れて驚かしてきたりととてもアクティブで、予定時刻より遅れて家を出たせいで集合時間にもギリギリになってしまいました。その日はまずバスに乗って、昔のユダヤ人が収容されていた場所を見学しました。大人数で移動したこともあり、バスの中はお互いの体が触れるほどぎゅうぎゅうで大変でした。Majdanekという名前の監獄は、一言で言うと残忍という言葉がピッタリの場所でした。ユダヤ人の人はここまで連れてこられるとまず所持品を全て没収されてから服を脱がされ、監視員の前で消毒液の入った風呂に入れられたそうです。また、軍人により選別がされ、働けないものや選ばれなかったものはガス室に送られて拷問をされたと記載されていました。送られてきた人の中で60パーセントほどの方はそこで亡くなったそうです。実際にガス室を見学しましたが、その話を聞いてからはとても見ていただけませんでした。宿舎を見学した際は、こんな狭いベットに詰められて寝ていたのかと思うとやるせない気持ちになりました。また、その日は着込んでいても震えるほど寒く、こんな環境で寒い小屋の中にいたことが信じられませんでした。こういった話は以前から聞いていましたが、実際に見て当時の状況をより鮮明に想像できたので、訪れることが出来てよかったです。そのあとは昼食を食べ、前日も訪れたold townを散策しました。昔の美しい街並みが残っており、皆写真を撮るのに夢中になりました。また、周囲にはたくさんの教会があり、その中に入ることもできました。特に印象に残っているのはルブリンで1番大きな教会です。壁一面に絵画が描かれており、一体どうやって描いたのかとても気になりました。装飾も日本では見られないようなヨーロッパ風のもので、とても美しかったです。

3日目はルブリンで1番大きな大学へ行きました。グループに分かれて3つの実験を行い、とても楽しかったです。大学見学が終わったあとは昼食を食べ、ダンスレッスンへ向かいました。昼食を食べてすぐに移動したのでお腹がはち切れそうで大変でした。ダンスレッスンではタンゴと呼ばれるダンスを習いました。実は今まで機会がなく言えなかったのですが、私は週1回のダンスレッスンにミエレッツに通っており、今回習ったものもそこですでに習っていたのもだったので、他の人よりも簡単に動くことができました。タンゴの動きを教わって音楽に合わせて踊ったあとは、講師の方々の本気のダンスを見せてもらうことができました。私たちが行ったものとは本当にレベルが違って、とても綺麗でした。ミエレッツに帰ってからのレッスンが楽しみです。

4日目は留学生たちが2人1組に分かれて高校を訪問し、自分の国について発表するというプログラムでした。私は同じ日本人の子と一緒にだったため、比較的にリラックスして発表することができたと思います。プレゼンテーションでは日本料理や学校生活、季節などについて話しました。実際に日本から持ってきた私の箸を生徒の皆さんに見せ、日本の食事はどうやって食べるのか説明しました。皆日本に対して興味を持ってくれて、日本でいちばん好きなご

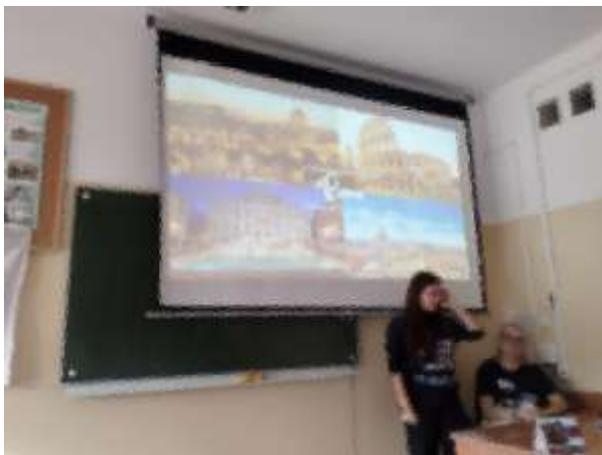
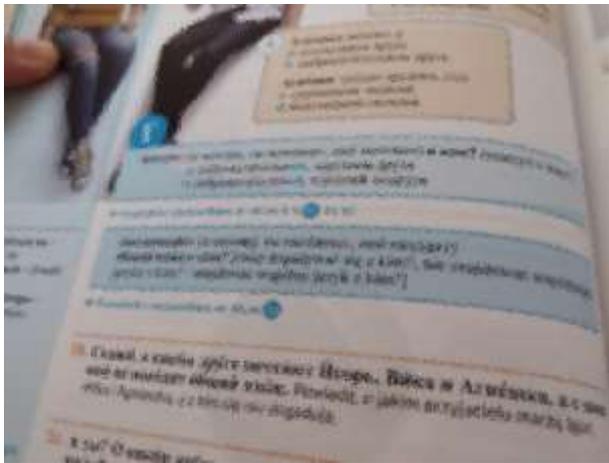
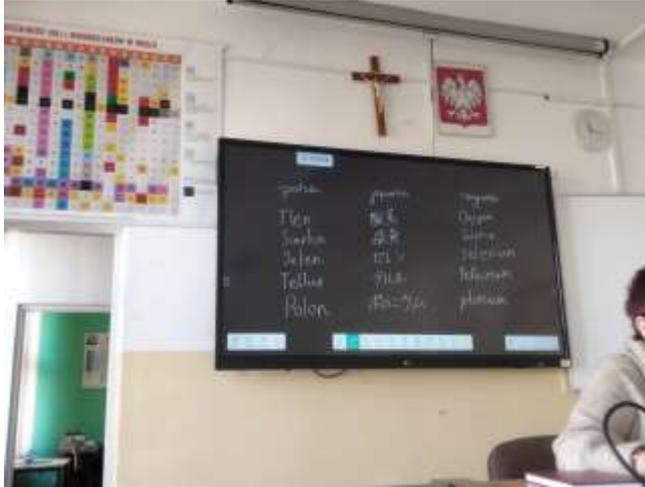
はんや日本の災害、有名なアーティストなど色々なことを質問されました。3回のプレゼンを終えたあとは自由時間になり、街を散策して回りました。昼食は近くのお店に売っていたケバブのようなものを食べました。その後は同じ日本人の子が教会を見たがっていたので、近くにいた他の留学生と合流してそこへ向かいました。天井が見えないほど高く、壁一面にびっしりと美しい絵画が描かれていたり、金の装飾があつたりと、本当に美しい教会で、日本に帰ったあと家族をここに連れていきたいと思うほどでした。教会を見終わったあとも街をブラブラと歩いていましたが、私は帰りのバスの時間になってしまったため同じミエレッズの留学生と合流して帰りました。次に皆に会えるのは11月最後の3ヶ月で留学を終える人たちのお別れ合宿になるので、とてもさみしいです。



11月2週目

11月11日はポーランドの独立記念日であり、その前日の金曜日には「アカデミア」と呼ばれるパーティーのようなものがありました。参加できる人数は限られており私は直接見ることはできませんでしたが、ホストシスターが壇上で歌を歌った動画を後で見せてもらいまし

た。また、翌日の土曜日には首都であるワルシャワで行われたパレードをテレビ中継で見ることができました。ポーランドは123年間他国によって支配され、地図にポーランドという場所はなかったそうです。11月11日はそんなポーランドが自由を取り戻した喜ぶべき日であり、また、祖国を取り戻すために戦った当時の兵士たちの栄誉を称える日でもあるそうです。日本とは違った歴史を持つポーランドならではの記念日でとても興味深かったです。一枚目の写真は学校の友達に日本語を教えてほしいと言われて書いたものをその友達が真似して書いたものです。日本語に興味を持ってもらえるのはとても嬉しかったです。3枚目はホストマザーが作ったナプキンです。刺繍はすべて自分の手で行っていてとてもきれいな模様でした。私も簡単なものですがマザーに教えてもらいながら刺繍を始めたので、完成したら写真を送りたいです。

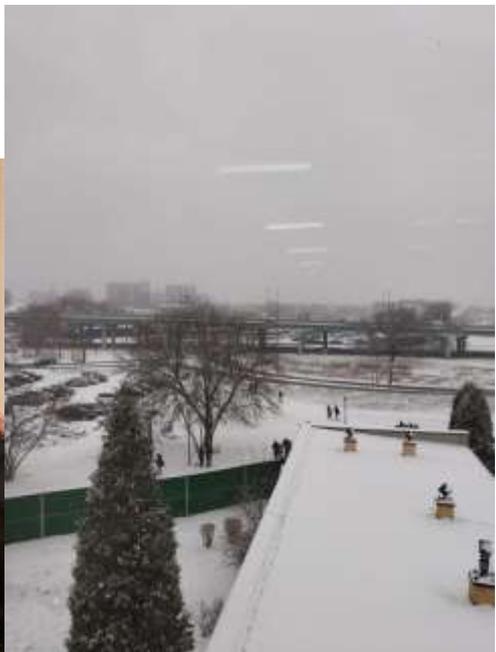


11月3週目

木々のほとんどが枯れ、本格的に冬の訪れを感じる季節になりました。今週は火曜日に科学でプレゼンの時間がありました。酸素元素について発表し、その後覚えた元素をポーランド語、日本語、英語で発音するというものでした。プレゼンの話自体はかなり前からされてい

たのですが、翻訳をしてくれるはずの友達が体調不良になってしまっていたこともあり、先送りになってしまっていたものをやっとプレゼンすることができました。最後に黒板に日本語で元素を書いたとき、漢字を書いているときのクラスメイトのざわめきがとても面白かったです。プレゼンが終わったあとに「皆日本語で困惑していた」という話を聞いて、確かにアルファベットに慣れているポーランド人が日本語を見たら困惑するだろうと納得しました。また、木曜日には他の留学生と集まって学校の生徒に対するプレゼンも行われました。私のプレゼンはまだ未完成だったので発表しませんでした。他の国の子の発表はとても面白く、興味深かったです。良い参考になったので、土日のプレゼンづくりの際に活用したいと思います。







11月4週目+5週目

4週目はたくさんのイベントがありました。20日には学校でのプレゼンがあり、着物を実際に着ていきました。初めてのクラスで発表ということもあり緊張していましたが、一日が終わる頃には慣れることが出来ました。こちらで購入した日本国旗も持っていき、サインを書いてもらいました。これからどんどん増やしていければいいと思います。22日には3ヶ月で帰国する留学生の家にみんなで集まりお別れのパーティーをしました。みんなで音楽をかけて歌ったり踊ったり、クッキーを作ったりして楽しみました。お別れのプレゼントとして日本から持ってきていた緑茶のパックを渡しましたが、喜んでもらえて嬉しかったです。次の日の夜はその子と一緒に皆で市内のレストランで夕食を食べました。また、出発の日にはバス停まで行き、最後に挨拶をしました。バスに乗るのは1人だけなのにその見送りに15人以上の人が来ていて、皆別れを惜しんでいるのだと感じました。次の週からは本格的に冬が始まり、朝から雪の降る一日となりました。常陸太田は雪が降ってもここまで積もることはないので、新鮮で面白かったです。マフラーに手袋、帽子が必須になり荷物が増えたのが少し大変ですが、現時点でも気温は-9℃程まで下がってしまうため防寒具の必要性を思い知っています。これならもっと寒くなっていくと思うと体が震えてきますが、しっかり準備して冬に臨みたいと思います。